

## 「第7回東アジア地方政府会合」を開催しました。

東アジア各地方政府の代表が、地域の実情や課題を報告し合い、共通する課題の解決に向けて議論を行う「第7回東アジア地方政府会合」を開催しました。

○日 程 平成28年11月6日(日)～8日(火)  
実務者討議、首長討議、基調講演、分科会等報告、代表記者会見、  
交流会、エクスカージョン

○会 場 ホテル日航奈良 ほか

○討議テーマ 「まちづくり、地域づくり」

講師：後藤健市（株）プロットアジアアンドパシフィック代表取締役社長  
「農業と地域経済の発展」

講師：藻谷浩介（株）日本総合研究所主席研究員  
「少子化対策の推進」

講師：松田茂樹 中京大学現代社会学部教授

○参加地方政府 6か国40地方政府

(中国5、インドネシア2、マレーシア1、韓国5、ベトナム3、日本24)



会議風景



記念撮影

○全体概要

- ・ 7日午前の実務者討議では、3つのグループに分かれ、各討議テーマに関する会員地方政府の取組事例を紹介したリージョナルレポートに基づき事例発表を行い、講師の進行により、質疑応答、意見交換を行いました。

- ・ 開会式では、知事の開会挨拶に続き、(一財)地方自治研究機構の石原会長より来賓挨拶をいただきました。その後の基調講演では、北岡伸一東京大学名誉教授から「東アジアの未来を考える」と題してご講演がありました。また、会員地方政府が自主的に開催した分科会(まちづくり分科会〔檀原市〕、観光分科会〔中国陝西省〕)や関連フォーラム(東アジア『食と農』地域フォーラム〔静岡県〕)の成果報告が行われました。



開会挨拶(知事)



来賓挨拶(石原氏)



基調講演(北岡氏)



分科会報告(檀原市)

- ・ 同日午後からの首長討議では、各テーマの担当講師から討議の導入スピーチが行われた後、午前の実務者討議での事例発表や議論を踏まえて活発に意見が交わされ、各行政課題の解決に向けた議論を深めました。
- ・ 総会では、次回の第8回会合が中国四川省・成都市で開催されることが発表され、成都市からプレゼンテーションが行われました。



討議風景



討議風景



討議風景



総会  
(成都市によるプレゼンテーション)

- ・ 休憩時間に会場ロビーで「富有柿」を参加者に振る舞い、県産柿のPRを行いました。
- ・ 8日には、エクスカージョンプログラムとして、奈良国立博物館、若草山をご案内しました。また、前回に引き続き、畝傍高校生が参加者の誘導等の補助業務を行いました。



「富有柿」PRコーナー



エクスカージョン  
(奈良国立博物館ほか)